

矢板に挟まれ死亡

作業前は、『事前打合せ』

不安全作業・手抜き作業は、絶対に行わない

作業中は、『周囲の安全』を確認しましょう

慣れてきた時ほど慎重に！

慣れてきた時ほど、流れ作業におちいりやすくなります

倒れた矢板に挟まれ死亡

矢板の切断中

橋台との間に挟まれ

橋の架け替え作業をしていた作業員の男性が死亡

2025/12/2(火) 12:54

1日午後1時30分ごろ、広島県の工事現場で、「矢板の切断中にコンクリートとの間に挟まれた」と、現場にいた人から119番通報がありました。

作業員の男性（51）は当時、コンクリート製の橋台を囲っていた鋼製の「矢板」の切断作業をしていました。その際、切断した矢板（高さ3m、幅1.5m、幅1cm）が倒れ、橋台との間に挟まれました。

男性は、心肺停止の状態で病院に搬送されましたが、その後、死亡が確認されたということです。

事故当時、現場には作業員が複数人いましたが、他にけが人はいなかつたということです。